

◇ 技術分野（令和6年度版シラバス） ◇

(ア) 授業の約束 **【^{ほんじてってい}凡事徹底**】

● チャイム前の着席を	● 身の回りの整理整頓を	● 礼儀正しい挨拶を
● 人の話は、顔を上げて	● 発言は挙手をしてから	● 提出物は期限厳守
● 実習の服装は、ジャージで	● 片付け・清掃は全員で	● “みんなの授業”という意識を

(イ) 持ち物（3点セット）

- 教科書（技術分野）・ハンドノート（1年、3年）・授業ノート（1年）・ファイルの3点セットは、常に用意する。
- その他必要なものについてはその都度連絡します。

(ウ) 定期考査について

- 1・2学期期末考査、3学期学年末考査のみ実施します。1・2学期中間考査は実施しません。
- 各定期・学年末考査では、【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点に関する問題が出題されます。
- 教科書・ハンドノート（授業ノート）からだけでなく、授業で使用したワークシートからも出題します。
- テスト後にワークシートなどを回収することが多いです。ワークシートは必ずファイルで管理して、紛失しないように心掛けましょう。

(エ) 日々の学習について

- 授業で学んだことを、日々の日常生活で生かしてもらえると嬉しいです。
- テレビや新聞などのニュースに関心を持ち、「自然環境・環境問題」「資源やエネルギー」「日本の技術革新」等に関する記事については普段から関心をもっていると学校での授業がより深まります。
- 夏休みに発明創意くふう展に出展する作品を1点制作してもらいます（令和5年度は家庭科の宿題）。早いうちから構想を立て、考えておくとういでしょう。

(オ) 学習内容【第3学年 技術分野】

時間 17/17.5	学習 内容	題材名	学習のねらい	
1	D.情報の技術	1.オリエンテーション①		
2		1.コンピュータを使って機器を自動で動かすしくみ 2.コンピュータによる処理のしくみ 3.プログラムの構造と表現	使用教材 アルゴリズムなど	○ 計測・制御システムの基本的なしくみを知る。 ○ 計測・制御システムの各要素のはたらきを知る。 ○ プログラムによる処理の自動化のしくみを知る。 ○ 処理の流れや手順を表す方法を知る。 ○ 処理の流れや手順を図で適切に表現できる。
1		1.情報のデジタル化 2.デジタル情報の特徴		○ 情報のデジタル化のしくみを知る。 ○ デジタル情報と情報の量の関係を知る。
3		1.問題解決の流れ 【計測・制御】	使用教材 マイクロビットなど	○ 計測・制御のプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。
4		1.問題解決の流れ 【双方向性】 2.情報通信ネットワークのしくみ	使用教材	○ 双方向性のあるコンテンツのプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。 ○ 情報通信ネットワークの構成や情報をやりとりするしくみを知る。
5		1.使いやすさを工夫した情報の表現 2.メディアを利用した情報の表現 3.Webのしくみと情報の表現	マイクロビットなど	○ 情報の使いやすさやわかりやすさに関する工夫を知る。 ○ 情報の表現手段やコンテンツの特徴を知る。 ○ Webにおける情報の表現方法を知る。
2		1.情報の技術の学習をふり返ろう 2.情報の技術と私たちの未来		○ 情報の技術での学習をふり返り、技術の見方・考え方について考える。 ○ 情報の技術を評価し、適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。